

東浦町地域公共交通利便増進実施計画(概要)

- 東浦町は、町内西部地区においてバスと鉄道を乗り継ぐ町域外の主要地点へのアクセスが不便であり、また、わかりやすく安心してバスに乗車できる環境づくりが課題であった。
- これらの課題を踏まえ路線・ダイヤの改変等により、町内の公共交通の利便性向上と維持存続を図り、移動しやすく交流を生む「おでかけ」環境を実現する。

事業の内容

・「う・ら・ら」の路線再編

- ①環状線・東浦高校線(於大公園南経由)・長寿医療研究センター直行便を統廃合し藤江線・新田線に再編。
- ②再編する藤江線・新田線を新たに名鉄河和線巽ヶ丘駅へ乗り入れ、町内各地域から、名鉄電車へのアクセスを実現。

・知多バス東ヶ丘団地線との連携の強化

- ③知多バス東ヶ丘団地線の運賃を「う・ら・ら」と統合。
東ヶ丘団地線と「う・ら・ら」の路線、停留所の統一を図り、東ヶ丘団地線の運行空白時間帯も「う・ら・ら」の運行でカバー。

その他、各路線の接続性の向上等のためダイヤ・路線調整、停留所新設、利用促進施策(乗り方教室)の実施 など

事業の効果

■総合的な利便性の向上

名鉄河和線巽ヶ丘駅への乗り入れにより、町外への移動に利用可能な交通手段の増加。

要望の多かった西知多総合病院(東海市)への通院、東ヶ丘団地線の運行空白時間帯が解消される等、利便性が向上。

■利用者にとってわかりやすさの向上

誤乗車が発生していた環状線を方面別に再編する等、路線再編、ダイヤ変更により、利用者にとってのわかりやすさを向上。

東ヶ丘団地線との「う・ら・ら」の運賃統合による、運賃のわかりやすさを向上。

以上により、利用促進及び公共交通の持続性向上が期待される。

